

\*\*\*\*\*

「つくる」「つたえる」「つなぐ」

メ〜テレグループ SDGs 取り組みの指針まとめる

名古屋・栄に東海地区初の“スマートゴミ箱”を導入

\*\*\*\*\*

メ〜テレ（名古屋テレビ放送）は、国連の SDG メディアコンパクト加盟社として、持続可能な社会の実現に向けた様々な取り組みを行ってきました。2022年4月に開局60周年を迎えるにあたり、この動きをグループ各社一丸となって加速していくため、改めてグループとしての指針をまとめました。

また、その取り組みの一環として、メ〜テレと関わりの深い名古屋・栄で、東海地区初となるスマートゴミ箱「SmaGO」（スマゴ）を設置します。



※メ〜テレ SDGs サイト：  
<https://www.nagoyatv.com/sdgs/>

①「つくる」「つたえる」「つなぐ」～みらいのために 私たちにできること～

1962年の開局以来、メ〜テレは地域とともに歩むテレビ局として、いち早く環境問題に取り組んできました。1963年から30年に渡って続けた「グリーンキャンペーン」では、“まちに緑を”を合言葉に、東海エリア各地に、合わせて3万本あまりを植樹。1993年からは「みらいのこどもたちへ」というキャッチフレーズのもと、地球規模の環境問題に視点を拡大して取り組んできました。グリーンキャンペーンで生まれた街の緑は、今もなお地域のみなさまに愛されています。

メ〜テレグループはこれからも、この地域に根差したメディアとして、“みらい”をキーワードに、「つくる」「つたえる」「つなぐ」を通じて、地域に貢献し続けていきたいと考えています。

その強い想いを改めてグループの指針とし、以下の3つのテーマを掲げました。

- 「こどもたちのみらいに」～こどもたちがのびのびとチャレンジできる社会に～
- 「地域のみらいに」～住みよい環境や美しい自然を守りながら 地域を元気に～
- 「暮らしのみらいに」～日々の暮らしをより安全で豊かに。いざという時にも信頼される情報発信を～

地域のよりよい“みらい”に向かって、放送・配信・イベント等を通じ、地域のみなさんとともに取り組んでいきます。

## ②名古屋・栄に、東海エリア初の“スマートゴミ箱”SmaGOを設置

メ〜テレは、三井不動産株式会社(所在：東京都中央区 代表取締役社長 菰田正信)・株式会社フォーステックと共同で、名古屋・栄の Hisaya-odori Park に、IoT を活用した最新のゴミ箱「SmaGO」を、東海地区で初めて設置します。

多くの人が集まる公園などでのごみの分別は、街の景観はもちろんのこと、リサイクルの促進、プラスチックごみによる海洋汚染防止などとともに、こどもたちへの啓発という意味でも重要だと考えています。開局以来関わりの深い栄地区では、このほかにも様々な取り組みを通じて、SDGs 達成に貢献していきます。



スマートゴミ箱「SmaGO」のデザイン

### <SmaGO (スマゴ) とは>

- ・ソーラー発電機能や通信機能を搭載した“IoT 化されたスマートゴミ箱”。電源不要で、ゴミ自動圧縮機能や通信によるリアルタイムの状況把握により、効率的な回収が可能。
- ・表面には啓発メッセージなどがラッピングでき、新規広告メディアとしても活用できるため、管理費用面でも持続可能な取り組みが可能に。
- ・“街と企業と市民が一体となった環境活動”として、SDGs の6つのゴールに対応。



- ・世界の主要都市で導入が進んでおり、国内では2020年から本格導入開始。東海エリアでは初導入となる。

### <メ〜テレと栄>

メ〜テレは1969年、名古屋テレビ塔以外のシンボルがなかった栄を活気づけようと、当時としては珍しかった大噴水を建設し、“希望の泉”として名古屋市に寄贈しました。

その後も、久屋大通公園への植樹や地下街（セントラルパーク）の開発など、様々な形で街づくりに関わり続けています。2020年には、生まれ変わった Hisaya-odori Park に大型のデジタルサイネージを設置。今回 SmaGO も加え、栄地区での SDGs への取り組みを進化させます。

また、最新技術の導入だけでなく、年月を経たものも大切に守り継いでいくため、今年は約半世紀ぶりに“希望の泉”のリニューアルにも取り組みます。栄の街の憩いの場として、これからもみなさんに親しんでいただけることを願っています。